

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2018年度 パフォーマンス向上会議情報(2019年2月15日(金)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2019年2月15日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

| 番号 | 不適合内容   | グレード | 発見日   |
|----|---|------|-------|
| 1  | 【既設多核種除去設備(C)クロスフローフィルタ(C)流量調整弁のフランジ部からの漏えいについて】<br>クロスフローフィルタ(C)流量調整弁のフランジ部からの漏えい痕があることおよび漏えい検知器用の溜枳に漏えい水が溜まっていることを確認。<br>当該弁の修理を実施。 | GⅡ   | 2月12日 |
| 2  | 【増設焼却炉建屋建設における不適切な検査記録の作成について】<br>増設焼却炉建屋建設の検査記録において、コンクリート増し打ち寸法を差し引いた数値を記載すべきところ、増し打ち寸法を含んだ数値を記載した。<br>なお、検査の結果には問題なし。              | GⅢ   | 2月12日 |
| 3  | 【既設多核種除去設備共沈タンク(B)苛性ソーダ注入背圧弁からのにじみについて】<br>既設多核種除去設備共沈タンク(B)苛性ソーダ注入背圧弁の本体フランジ部および配管つなぎ込み部ににじみを確認。<br>増し締めを実施済み。                       | GⅢ   | 2月13日 |
| 4  | 【6号機原子炉建屋一階南西エリアの火災警報の動作について】<br>6号機原子炉建屋一階南西エリアの火災警報が動作したが、現場に火の気がなく、誤報と判断。  | GⅢ   | 2月13日 |